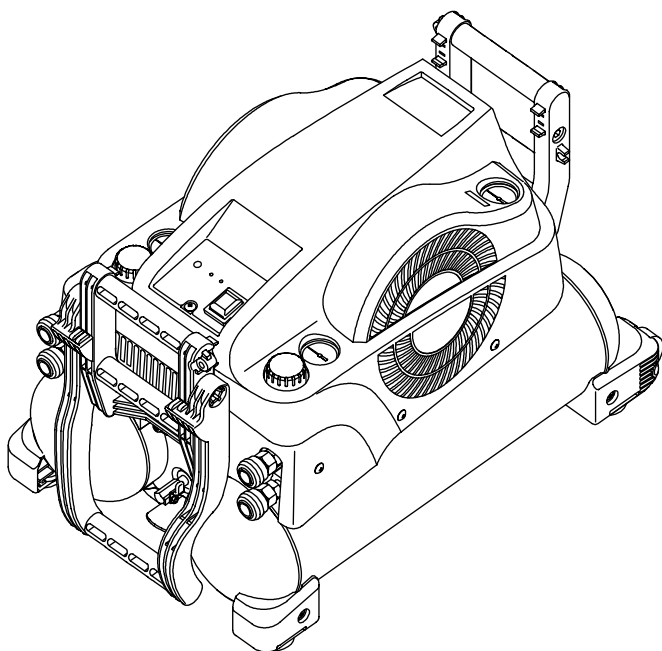


エアコンプレッサ

取扱説明書

モデル AC430XH (50/60Hz)



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**エアコンプレッサ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能		モデル	AC430XH
電動機			DC ブラシレスモータ
電圧			単相交流100V
電流 ※			15A
出力			1,300W
周波数			50/60 Hz
減圧弁の 圧力調整範囲	一般		0.39～0.88 MPa (4～9kgf/cm ²)
	高圧		0.98～2.45 MPa (10～25 kgf/cm ²)
タンク内最高圧力 ※			4.21 MPa (43 kgf/cm ²)
回転速度 ※			最大 2,500 min ⁻¹
吐出空気量※	0.69MPa時 (7kgf/cm ²)		140 L/min
	2.3MPa時 (23kgf/cm ²)		100 L/min
運転モード			速打ちモード 標準モード 静音速打ちモード 静音標準モード
シリンダ径×行程×シリンダ数		1 段側	62mm×25mm× 1
		2 段側	45mm×10mm× 1
タンク容量			16L
本機寸法	長さ		609mm
	幅		377mm
	高さ		370mm
質量			19kg
空気取出口	一般		一般圧用ワンタッチジョイント2個
	高圧		高圧用ワンタッチジョイント2個

※速打ちモード時のもの。各モードの仕様については、17ページ『運転モードについて』をご覧ください。

- ・ 本機は、釘打機などの空気工具用のコンプレッサですので、連続運転となるような使い方はやめてください。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 機械の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用して釘打ち作業をしてください。
 - ・ 装着しないと打ち損じの釘や釘の連結片で目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
3. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 長い髪は、帽子等で覆ってください。
4. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ エアコンプレッサは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 揮発性可燃物（ガソリン、シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
 - ・ 腐食性ガス（塩分、酸、アンモニア、オゾンガス、亜硫酸ガスなど）の雰囲気では使用しないでください。
5. 木くずなどのゴミやホコリの多い場所には設置しないでください。
 - ・ 過熱事故や異常摩耗の原因になります。
6. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、エアコンプレッサやコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
7. 風窓をふさいだり、狭い箱などの中に入れて使用しないでください。
 - ・ モータが焼損する原因になります。
8. 使用中、本機は硬く水平な場所に設置してください。また、縦置きで使用しないでください。
 - ・ 不安定な場所に設置すると、本機が移動や落下、転倒して事故の原因になります。
 - ・ 落下、移動の恐れのある所では、グリップをロープで縛り付けるなどして確実に本機を固定してください。
9. 各部のボルトやネジのゆるみがないことを確認してください。
 - ・ 故障や事故の原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機、タンクなどに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

⚠ 警告

11. エアコンプレッサの上に座ったり、重量物を載せたりしないでください。
 - ・ 破損や亀裂、変形の原因になります。
12. 使用出来る電源はAC100Vのみです。エンジン発電機やエンジンウエルダの直流電源などは使用しないでください。
 - ・ 故障や発火、発熱、焼損の原因になります。
13. 昇圧器などのトランス類は使用しないでください。
 - ・ 故障や発火、発熱、焼損の原因になります。
14. **必ず接地（アース）してください。**
 - ・ 接地は、電源プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
 - ・ 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。
アース付（3ピン）電源コンセントの場合
 - ・ 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地は不要）
2極電源コンセントの場合
 - ・ アースクリップをアース線に接続してください。
 - ・ アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
 - ・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと本機の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
 - ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
 - ・ 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをおすすめします。
 - ・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
15. **アース線をガス管に接続しないでください。**
 - ・ 火災、爆発の原因になります。
16. **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・ コードを引っ張って、エアコンプレッサを移動させたり、電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近づけないでください。
17. **延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。**
 - ・ アース線のない2芯コードですと、故障や漏電時、感電の原因になります。
18. **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. **本機のコード及び、使用の延長コードは定期的に点検してください。**
 - ・ 電源プラグまたはコードが損傷している場合は交換してください。本機のコードの交換は、お買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
20. **不意な始動は避けてください。**
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む時に、スイッチがOFFになっていることおよび、エアホースが接続されていないことを確認してください。

⚠ 注意

1. 騒音に関しては、法令及び、各都道府県の条例で定める騒音規則があります。状況によってしゃ音壁を設けて作業してください。
2. 作業場はいつも明るく、きれいにしてください。
 - ・ 暗かったりちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. エアコンプレッサは、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 運搬時の落下防止のため、グリップは常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスが付かないようにしてください。

ご使用中

⚠ 警告

1. 感電に注意してください。
 - ・ エアコンプレッサを使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
2. 空気の圧縮のみに使用してください。
 - ・ 空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を吸引すると爆発する恐れがあります。
3. 一般取出口には、耐熱温度60℃以上、耐圧0.98MPa以上、内径6.5mm以上のエアホースを使用してください。高圧取出口には高圧専用エアホース以外は絶対使用しないでください。
 - ・ エアホースの破裂事故の原因になります。
4. エアホースを接続する前にエアホースとエアプラグが完全に固定されていることを確認してください。
 - ・ 固定が不完全だと、外れて事故の原因になります。
5. 本機は、釘打機などの空気工具用のエアコンプレッサですので、連続運転となるような使い方はやめてください。
 - ・ 製品寿命を早めたり、性能を低下させる原因になります。
6. エア工具は、必ず使用空気圧力の範囲内で使用してください。
 - ・ 圧力が高過ぎると、エア工具の寿命を早めたり、故障や事故の原因になります。
7. 開口部やファン部に異物を入れたり、近づけたりしないでください。
 - ・ 巻き込みなどにより、故障や事故の原因になります。
8. エアコンプレッサは、空気充てんのまま長時間、直射日光に当てたり、高温な場所に放置しないでください。
 - ・ タンク内の圧縮空気がさらに高圧になり、タンクが破裂する恐れがあります。

⚠ 注意

1. 本機の調子が悪かったり、異常音がした場合は、直ちにスイッチをOFFにして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。さらにドレンコックをゆるめ圧縮空気をすべて抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、事故の原因になります。
2. 使用時及び使用直後のタンクなどの金属部は、高温になることがあります。これは空気の圧縮熱のためで故障ではありませんが、やけどに注意してください。

ご使用後

⚠ 警告

1. スイッチをOFFにした後は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
2. ドレンコックをゆるめ、タンク内のドレンと圧縮空気をすべて抜いてください。
 - ・ タンクが破裂する恐れがあります。
3. ドレンと圧縮空気を抜く場合は、顔をドレンコックに近づけないでください。
 - ・ ドレンや圧縮空気によって失明や耳を痛める恐れがあります。
4. タンク内のドレンと圧縮空気がすべて抜けてからエアホースを外してください。
 - ・ タンク内に圧縮空気が残ったままエアホースを外すとカブラが跳ね、けがや事故の原因になります。
5. 本機を分解、改造しないでください。
 - ・ 故障や事故の原因になります。
6. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 損傷した部品交換は、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、故障や事故の原因になります。
7. 指定の標準付属品や別販売品を使用してください。
 - ・ 本取扱説明書及び当社カタログに記載されている標準付属品や別販売品以外のものを使用すると、故障や事故の原因となる恐れがあるので使用しないでください。

⚠ 注意

1. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をお勧めします。
 - ・ 定期点検は、必ずお買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお申し付けください。
2. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・ 長期間ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の運転を行ってください。

注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、機械を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

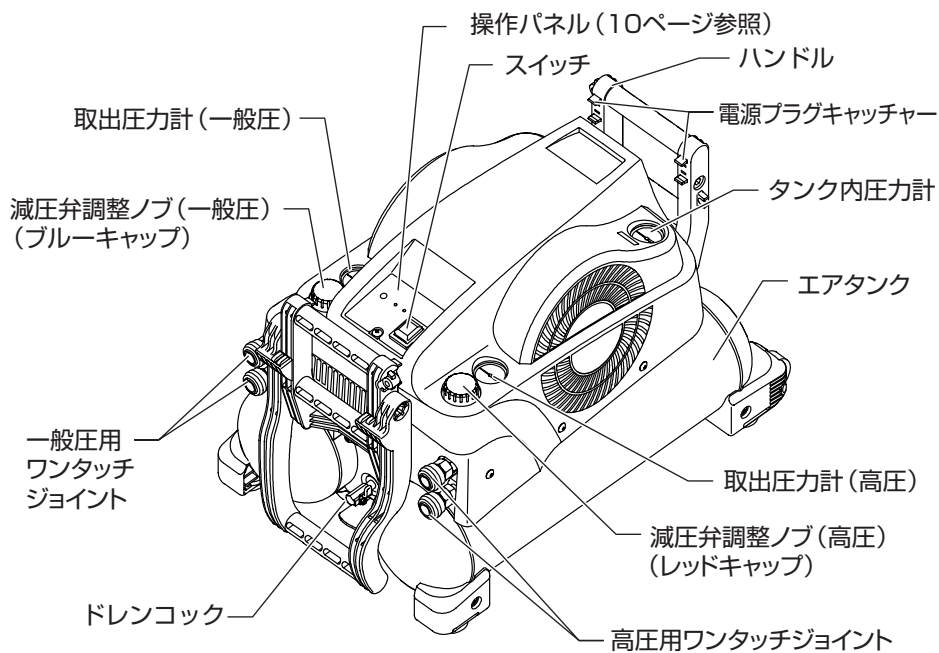
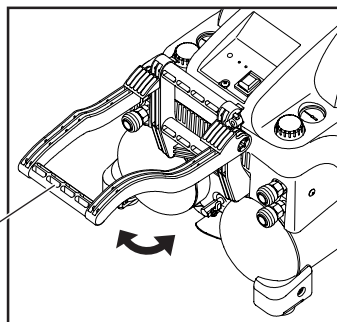
コード の長さ \ コード の太さ	1.25mm ²	2.0mm ²	元電源
30m	×	○	◎

- ◎：最適
○：使用可
×：使用不可

※ 他の機器と同時に使用されますと、○印の場合でも使用できない場合があります。

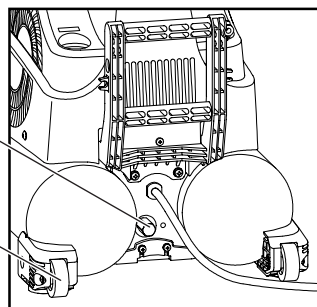
各部の名称

折りたたみ式キャリーハンドル



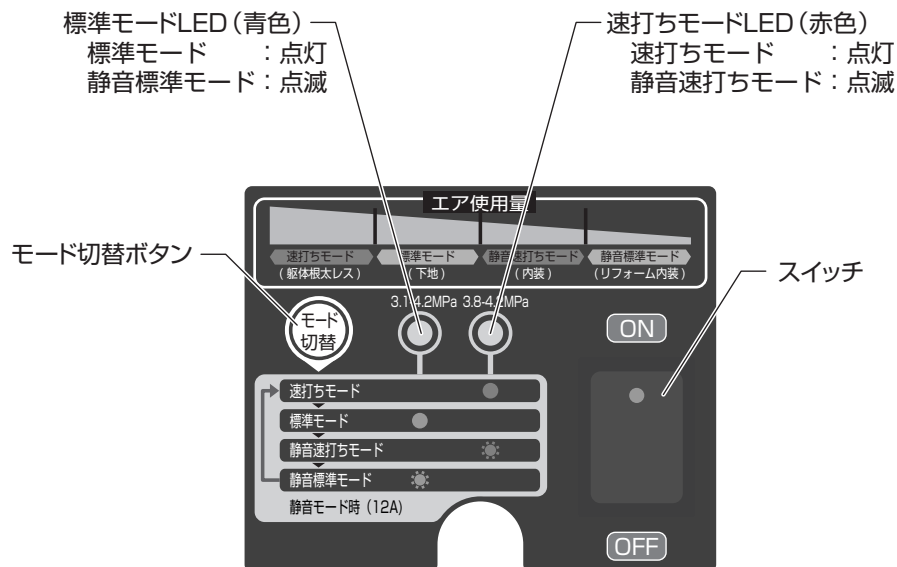
高圧増設タンク接続口

キャスター



各部の名称

操作パネル



運転モードの切替えについては、17ページ『運転モードについて』をご覧ください。

別販売品のご紹介

- ・ 一般圧用エアホース
- ・ 高圧用エアホース
- ・ 高圧増設タンク
- ・ 高圧増設タンク接続専用エアホース
- ・ 詳細はマキタ総合カタログのエア工具関連別販売品ページをご覧ください。

エアコンプレッサのご使用について

運転前の点検・確認

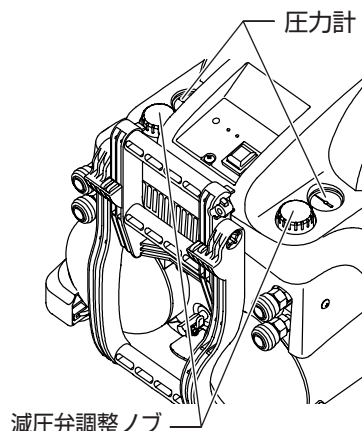
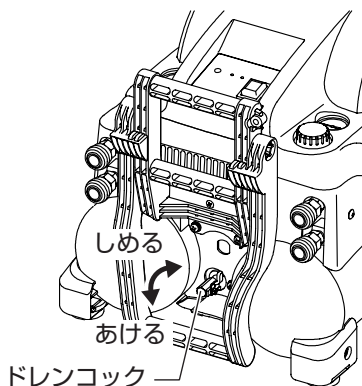
～エンジンウエルダの直流電源などは～

⚠ 警告

使用出来る電源は単相交流100Vのみです。エンジン発電機や、エンジンウエルダの直流電源などは使用しないでください。

・故障や発火、発熱、焼損、性能低下の原因になります。

1. スイッチがOFFになっていることを確かめて、アースクリップを接地してから電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
2. ドレンコックを全開にして、スイッチをONにしてください。
3. モード切替ボタンを押して、運転モードを『標準モード』に切替えてください。
4. ドレンコックから圧縮空気が出ていることを確かめてください。
5. ドレンコックを閉め、減圧弁調整ノブ（2ヶ所）を右へ一杯回して、圧力計の指針が上昇することを確認してください。
6. タンク内に圧縮空気が充てんされ、圧力計の指針が上昇します。この時に異常な音や振動がないことを確かめてください。
7. 8～10分で自動的に停止することを確認してください。
8. ドレンコックを少し開け、圧縮空気を徐々に抜き、タンク内圧力が約3.15 MPaにて再起動することを確認してください。
9. ドレンコックを閉め、再び圧縮空気を充てんしてください。
10. 本機が停止したら、スイッチをOFFにし、ドレンコックより圧縮空気をすべて抜いてください。
 - ・以上で点検・確認は終わりです。異常がなければ、以下の「ご使用について」に従って、ご使用ください。
 - ・点検・確認で異常がありましたら、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所に修理をお申し付けください。



エアコンプレッサのご使用について

使用手順

使用する前に必ず12ページ「運転前の点検・確認」を行ってください。

1. スイッチがOFFになっていることを確かめて、アースクリップを接地してから電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
2. ドレンコックを全開にして、スイッチをONにしてください。
3. モード切替ボタンを押して、運転モードを『標準モード』に切替えてください。
4. ドレンコックを閉めて、圧力を上昇させてください。
5. 圧力が上昇して8～10分で自動的に停止します。
6. 減圧弁調整ノブを回して釘打機や空気工具の使用圧力に調整を行います。調整方法は、減圧弁調整ノブを左一杯に戻して、使用圧力以下に一旦減圧させます。次に減圧弁調整ノブをゆっくり右に回し、圧力を上げながら使用圧力に調整してください。
※減圧弁の特性上、必ず使用圧力より低い圧力からゆっくり圧力を上げて調整してください。使用圧力より高い圧力から減圧させて調整した場合は、圧力計と使用圧力に誤差が生じます。（例：釘打機を一発打つと最初に調整した圧力から約0.2MPa（2kgf/cm²）下がります。）
7. 使用圧力調整が終わりましたら、エア取出しワンタッチジョイントに一般圧用（減圧弁調整ノブ・ブルーキャップ）は一般圧用のエアホースを、高圧用（減圧弁調整ノブ・レッドキャップ）は高圧用エアホースを接続してください。作業が開始できます。
8. モード切替ボタンを押して、ご使用になる運転モードに切替えて、作業を開始してください。

⚠ 警告

一般圧取出口には、耐熱温度60℃以上、耐圧0.98MPa以上、内径6.5mm以上のエアホースを使用してください。高圧取出口には高圧用エアホース以外は絶対使用しないでください。

・ エアホースの破裂事故の原因になります。

エアホースを接続する前にエアホースとエアプラグが完全に固定されていることを確認してください。

・ 固定が不完全だと、はずれて事故の原因になります。

エアコンプレッサのご使用について

注意

使用時および使用直後のタンクなどの金属部は、高温になることがあります。これは空気の圧縮熱のためで故障ではありませんが、やけどなどに注意してください。

エアコンプレッサのご使用について

ご使用後および運搬について

⚠ 警告

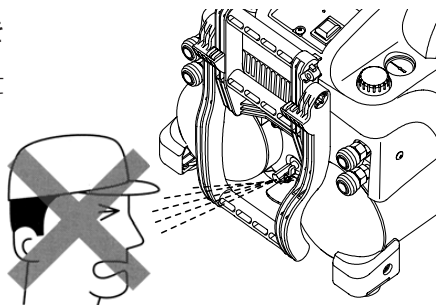
ご使用後および運搬時または停電時は、必ずスイッチをOFFにして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

ドレンコックをゆるめ、タンク内のドレンと圧縮空気をすべて抜いてください。

・タンクが破裂する恐れがあります。

ドレンと圧縮空気を抜く場合は、顔をドレンコックに近づけないでください。

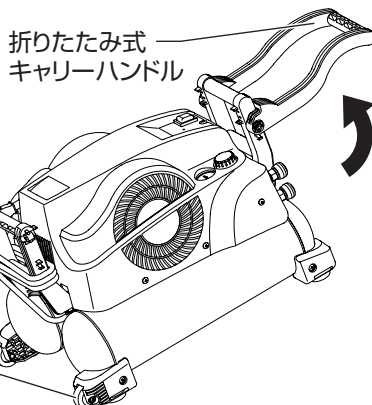
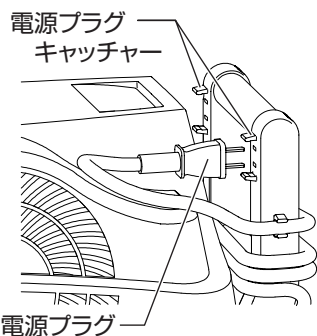
・ドレンや圧縮空気によって失明や耳を痛める恐れがあります。



本機にはキャスターおよび折りたたみ式キャリーハンドルが付いておりますので、引いて運ぶことができます。

使用手順

1. コードをハンドルにたるまないように巻き付けて、最後に電源プラグを電源プラグキャッチャーにしっかりと差込んでください。
2. 折りたたみ式キャリーハンドルを持ち上げてください。
3. さらに持ち上げると本機の前面が地面から浮き上がり、キャスターが地面に接地します。そのまま、引いて運んでください。
4. 本機を運んだ後は折りたたみ式キャリーハンドルを下げてください。



キャスター

エアコンプレッサのご使用について

⚠ 警告

折りたたみ式キャリーハンドルは本機を引いて運ぶためのものですから、折りたたみ式キャリーハンドルを持って、本機を持ち上げないでください。

・本機の落下など、事故の原因となります。

3cm以上の段差のある場所では、本機を無理やり引っ張り上げたり、引きずり落としたりしないでください。

・タンクの破損や亀裂、変形の原因となり、タンクが破裂する恐れがあります。

折りたたみ式キャリーハンドルを引いて本機を運ぶ時は、必ずコードをハンドルに巻き付けて、電源プラグを電源プラグキャッチャーに差し込んでください。

・コードが電源プラグが地面と擦れて損傷し、事故の原因となります。また、コードが引っかかり、転倒する恐れがあります。

本機を55°以上持ち上げないでください。

・本機が引っかかり返る恐れがあり、事故の原因となります。

折りたたみ式キャリーハンドルは、使用する時以外は下げてください。

・足が引っかかり、転倒する恐れがあります。

折りたたみ式キャリーハンドルを上げ下げする時に、ハンドルの間に指などを挟まないでください。

・けがをする恐れがあります。

エアコンプレッサのご使用について

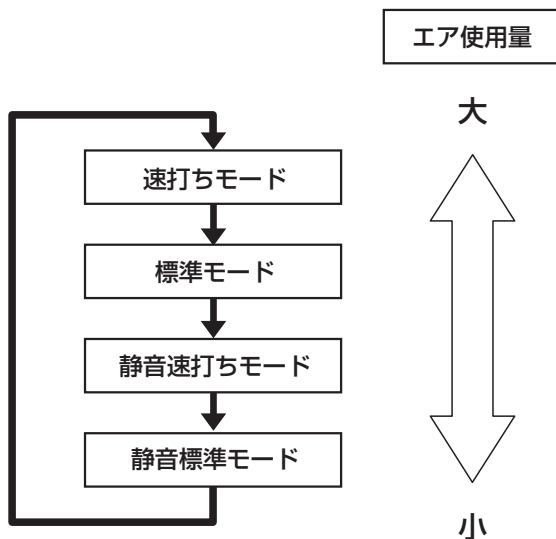
運転モードについて

本機は運転モード切替機能を搭載しており、様々な作業に応じて4つの運転モードから選ぶことができます。

運転モード	LED表示		圧力制御範囲		回転速度	電流
	青色	赤色	ON圧力	OFF圧力		
速打ちモード	消灯	点灯	3.82MPa	4.21MPa	最大2500min ⁻¹	15A
	用途：2×4、在来工法の建前、ネダレス工法による床張り等					
標準モード	点灯	消灯	3.15MPa	4.21MPa	最大2500min ⁻¹	15A
	用途：在来建築、下地作業等					
静音速打ちモード	消灯	点滅	3.82MPa	4.21MPa	最大1800min ⁻¹	12A
	用途：住宅密集地での内装作業等					
静音標準モード	点滅	消灯	3.15MPa	4.21MPa	最大1800min ⁻¹	12A
	用途：内装造作、リフォーム等					

操作方法

モード切替ボタンを1回押す毎に下記順番で運転モードが切替り、4回押すと元のモードに戻ります。



エアコンプレッサのご使用について

運転中の異常について

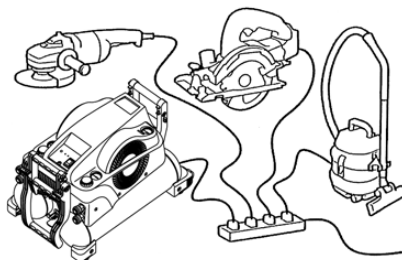
⚠ 警告

下記のような異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所に修理をお申し付けください。

- ・ スイッチをONにしてもモータがうなって運転できない。
- ・ 運転中に異常な音、振動がする。
- ・ 適切な電源なのにモータの運転が頻繁に停止する。
- ・ エアを消費していないのにごく短時間（約10分）で再起動したり、エアが漏れる音がする。
- ・ タンク内の圧縮空気が空の状態から13分以上待ってもモータが自動停止しない。
- ・ 安全弁が作動し、エアが吹き出す。
- ・ 正常にモータが運転されているのに圧力が上昇しない。

電圧感応制御について

- ・ 本機は、電源電圧の変化に伴ない、モータの回転速度を変化させ最適な状態にしています。これはモータのロックを防ぎ、過電流を防ぐと共に、電源に対する負荷を軽減するため、故障ではありません。
この電源電圧が低下する原因には、同一電源での電動工具などの併用や、細過ぎる、または長過ぎる延長コードの使用などが考えられます。このような場合は、作業の能率が落ちますので上記の原因を取り除いてください。



エアコンプレッサのご使用について

異常時保護機能について

本機は下記の異常時に保護機能が働き運転が止まります。

- ・ モータ異常過熱
- ・ 制御基板の異常過熱
- ・ 異常電圧降下

保護機能が働いた場合は、スイッチをOFFにして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

原因と思われる、下記事項を確認してください。

- ・ 他の機器と同時に使用していないか。(電圧降下)
- ・ 延長コードの長さ30m以上、太さ2.0mm²未満になっていないか。(電圧降下)
- ・ 冷却ファンの風窓の前にしゃへい物がないか。(異常過熱)

以上確認の上、原因を取り除いてください。

本機が冷えてから、電源プラグを電源コンセントに接続し、スイッチをONにしてください。それでも保護機能が働く場合は、コンプレッサの故障が考えられますので、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所に修理をお申し付けください。

高圧増設タンクのご使用について

本機はマキタ専用高圧増設タンクを接続することにより、タンク容量が増えて、より効率的な作業が可能になります。

⚠ 警告

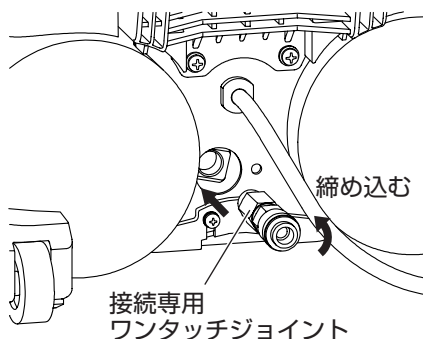
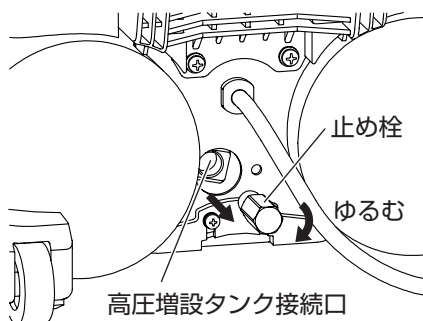
専用高圧増設タンクをご使用の際は、必ず高圧増設タンクの取扱説明書をお読みください。

本機はマキタ専用高圧増設タンクのみに接続出来ます。指定以外の使い方はやめてください。

本機および専用高圧増設タンクのドレンコックをゆるめ、タンク内の圧縮空気をすべて抜いてから、接続をしてください。

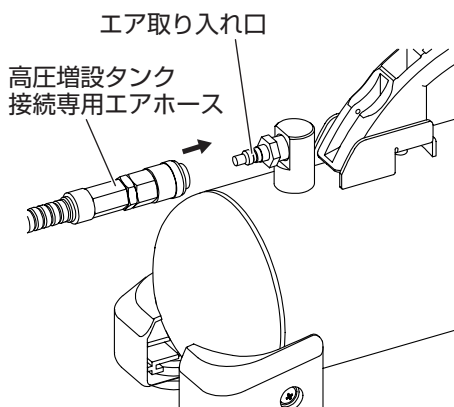
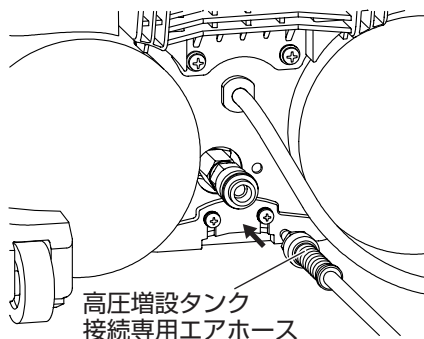
- ・ 事故の原因になります。

1. 本機のスイッチがOFFになっていることを確かめてください。
2. 本機のドレンコックを全開にして、エアタンク内に圧縮空気がないことを確かめてください。確かめた後にドレンコックを閉めます。
3. 本機の高圧増設タンク接続口についている止め栓をはずしてください。この止め栓は、右に回してゆるめ、左に回して締め込みます。
4. 接続専用ワンタッチジョイントを本機の高圧増設タンク接続口に取り付けます。接続専用ワンタッチジョイントを左に回してしっかりと締め込みます。



高圧増設タンクのご使用について

5. 高圧増設タンク接続専用エアホースのエアプラグ側を本機に取り付けた接続専用ワンタッチジョイントに接続します。
6. 専用高圧増設タンクのドレンコックを全開にして、エアタンク内に圧縮空気がないことを確かめてください。ドレンコックは開いたままにしておきます。
7. 高圧増設タンク接続専用エアホースのワンタッチジョイント側を専用高圧増設タンクのエア取り入れ口に接続します。
8. 本機のスイッチをONにして専用高圧増設タンクのドレンコックから圧縮空気が出ていることを確かめてください。
圧縮空気が出ない場合は本機のスイッチをOFFにし、本機と専用高圧増設タンクのドレンコックを全開にしてから、接続を確かめてください。
9. 専用高圧増設タンクのドレンコックを閉めて、圧縮空気を充てんしてください。



保守・点検について

- ・ 本機の性能を維持するために定期的に保守・点検を行ってください。

⚠ 警告

保守・点検の際には必ずスイッチをOFFにして、電源プラグを電源コンセントから抜き、ドレンコックをゆるめ、タンクから圧縮空気をすべて抜いてください。

- ・ 感電や事故の原因になります。

給油について

- ・ 本機は乾式構造を採用していますので、給油の必要はありません。

保管について

⚠ 注意

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
- ・ 長期間で使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の運転を行ってください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141	足立営業所	〈03〉(3899) 5855	東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
札幌営業所	〈011〉(783) 8141	大田営業所	〈03〉(3763) 7553	関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960	江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171	南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849	多摩営業所	〈042〉(384) 8411	奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
函館営業所	〈0138〉(49) 9273	立川営業所	〈042〉(542) 1201	榎原営業所	〈0744〉(22) 2061
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100	横浜支店	〈045〉(472) 4711	和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833	横浜営業所	〈045〉(472) 4711	田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
北見営業所	〈0157〉(26) 9011	川崎営業所	〈044〉(811) 6167	沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
仙台支店	〈022〉(284) 3201	平塚営業所	〈0463〉(54) 3914	兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
仙台営業所	〈022〉(284) 3201	相模原営業所	〈042〉(757) 2501	三木営業所	〈0794〉(82) 7411
古川営業所	〈0229〉(24) 0698	湘南営業所	〈0466〉(87) 4001	尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
青森営業所	〈017〉(764) 4466	静岡支店	〈054〉(281) 1555	神戸営業所	〈078〉(672) 6121
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321	静岡営業所	〈054〉(281) 1555	姫路営業所	〈079〉(281) 0204
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221	沼津営業所	〈055〉(923) 7811	広島支店	〈082〉(293) 2231
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101	浜松営業所	〈053〉(464) 3016	広島営業所	〈082〉(293) 2231
郡山営業所	〈024〉(932) 0218	甲府営業所	〈055〉(276) 7212	福山営業所	〈084〉(923) 0960
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061	金沢支店	〈076〉(249) 5701	三原営業所	〈0848〉(64) 4850
新潟支店	〈025〉(247) 5356	金沢営業所	〈076〉(249) 5701	岡山営業所	〈086〉(243) 4723
新潟営業所	〈025〉(247) 5356	七尾営業所	〈0767〉(52) 3533	宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530	富山営業所	〈076〉(451) 6260	徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
山形営業所	〈023〉(643) 5225	高岡営業所	〈0766〉(21) 3177	鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551	福井営業所	〈0776〉(35) 1911	松江営業所	〈0852〉(21) 0538
秋田営業所	〈018〉(863) 5205	岐阜支店	〈058〉(274) 1315	高松支店	〈087〉(867) 6411
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295	岐阜営業所	〈058〉(274) 1315	高松営業所	〈087〉(867) 6411
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295	多治見営業所	〈0572〉(22) 4921	徳島営業所	〈088〉(626) 0555
小山営業所	〈0285〉(25) 5559	松本営業所	〈0263〉(85) 4751	松山営業所	〈089〉(951) 7666
水戸営業所	〈029〉(248) 2033	長野営業所	〈026〉(225) 1022	宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
土浦営業所	〈029〉(821) 6086	上田営業所	〈0268〉(22) 6362	高知営業所	〈088〉(884) 7811
関東物流センター	〈048〉(771) 3451	飯田営業所	〈0265〉(24) 1636	福岡支店	〈092〉(411) 9201
埼玉支店	〈048〉(777) 4801	名古屋支店	〈052〉(571) 6451	福岡営業所	〈092〉(411) 9201
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801	名古屋営業所	〈052〉(571) 6451	北九州営業所	〈093〉(551) 3481
川越営業所	〈049〉(222) 2512	一宮営業所	〈0586〉(75) 5382	飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647	東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072	久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
越谷営業所	〈048〉(976) 6155	知多営業所	〈0569〉(48) 8470	佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
前橋営業所	〈027〉(232) 5575	岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443	長崎営業所	〈095〉(882) 6112
高崎営業所	〈027〉(365) 3688	豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117	佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
岡毛営業所	〈0276〉(46) 7661	四日市営業所	〈059〉(351) 0727	熊本支店	〈096〉(389) 4300
千葉支店	〈043〉(231) 5521	津営業所	〈059〉(232) 2446	熊本営業所	〈096〉(389) 4300
千葉営業所	〈043〉(231) 5521	伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210	八代営業所	〈0965〉(43) 1000
市川営業所	〈047〉(328) 1554	京都支店	〈075〉(621) 1135	大分営業所	〈097〉(567) 3320
成田営業所	〈0476〉(73) 8101	京都営業所	〈075〉(621) 1135	宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908	福知山営業所	〈0773〉(23) 7733	鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
柏営業所	〈04〉(7175) 0411	大津営業所	〈077〉(545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	〈03〉(3816) 1141	彦根営業所	〈0749〉(22) 6184		
東京営業所	〈03〉(3816) 1141	大阪支店	〈06〉(6351) 8771		
中野営業所	〈03〉(3337) 8431	大阪営業所	〈06〉(6351) 8771		

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)